

対ギニア共和国 事業展開計画

2022年 11月 現在

基本方針 (大目標)	持続的成長のための基盤整備支援
---------------	-----------------

重点分野1 (中目標)	食料安全保障
----------------	--------

<p>【現状と課題】 ギニアは豊かな自然資源と降水量に恵まれており、西アフリカにて唯一、食料輸出の潜在能力があるとも言われている。同国政府は「経済・社会開発国家計画」(PNDES)の中で、農業を強靱で持続的な成長のための牽引役と位置づけ、その開発を重視している。しかし就労人口の半数以上が農業に従事しているにもかかわらず、生産性の低さや流通面の課題から、2011年以降の農業分野のGDP成長率は1%以下である(世界銀行(WB)、2021)。また、同国は国土の西側に約350kmの海岸線を持ち、西アフリカ最大の大陸棚があることから豊富な海洋資源に恵まれているが、近年、資源管理状況の悪化及び内陸部等への水産物の流通が課題となっている。このような状況の中、同国の経済成長及び食料の安定供給のため、一次産業の振興が急務である。</p>	<p>【開発課題への対応方針】 我が国は1983年に始まる水産行政アドバイザーによる支援や農業の開発調査等を通じ、これまで主に首都コナクリにおける農水産物の生産性向上に貢献してきた。今後も、ギニアの高い開発潜在力を顕在化させ、一次産業の生産性を向上させるため、生産基盤や流通体制の整備及び行政の改善等を支援する。また、同国の主食であり、我が国が知見を有する稲作に重点を置き、国産米の生産・販売促進等を通じ稲作開発を支援する。</p>
--	--

開発課題1-1 (小目標)	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度				
持続的農業・農村開発及び食料安全保障の実現 食料安全保障強化プログラム		ギニアの中長期的経済成長及び食料の安定供給のため、同国の農業生産性の向上に貢献し、持続的成長につなげる。豊富な海洋資源を有する同国では漁業分野の協力も必要であり、人材育成を含む技術的な協力を中心とする。	海岸ギニアにおける国産米の生産・販売促進プロジェクト	技プロ							4.80	2		
			食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)	国別研修										
			カボロ漁港整備計画	無償								13.91	2,14	
			食糧援助(WFP連携)	食糧援助								3.00	2	
			森林保全に配慮した高品質カカオの普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業										
			経済社会開発計画	無償								2.00	2,14	水産分野資機材
			農業、水産分野の課題別研修	課題別研修他										

重点分野2 (中目標)	経済インフラの整備													
開発課題2-1 (小目標) 経済・社会基盤の整備	<p>【現状と課題】</p> <p>ギニア政府は、PNDESにおいて、投資促進や国土開発のためのインフラ整備等経済成長に資する経済・社会基盤の整備を重点分野の一つに置いている。特に道路及び橋梁等の交通インフラは脆弱であり、西アフリカ諸国経済共同体（ECOWAS）域内の周辺国と比べても整備が遅れている。また、国民の半数以上が電力へのアクセスがなく、都市廃棄物処理システムも脆弱である（WB、2020）。同国の経済成長のため、経済・社会基盤の整備に対する支援が急務である。</p>										<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>我が国はこれまで首都コナクリにおける送水管更新事業、給水事業に対する個別専門家派遣等を通じて、コナクリ市を中心とした国内の給水環境の改善に貢献してきた。それと同時に、主要幹線道路の橋梁改修及びコナクリ市地図作成等の基礎インフラ整備を手掛けてきた。今後も橋梁整備や電力アクセスの向上等、社会生活の安定や投資促進に資する経済基盤インフラ整備を支援する。</p>			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
	経済・社会基盤整備プログラム	地域間における貧富の格差に留意しつつ、社会生活の安定や投資促進に資する都市基盤インフラ整備の支援及び衛生的で安定した水へのアクセスの向上を目指す。	国道三号線スバ橋架け替え計画	無償	2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	14.14	9		
			国道二号線ファラナ橋架け替え計画準備調査	協準										
			サブサハラ・アフリカ諸国における電力分野アクセス向上に係る情報収集・確報調査	基礎情報調査										
インフラ分野の課題別研修			課題別研修他											
重点分野3 (中目標)	基礎的社会サービスの向上													
開発課題3-1 (小目標) 保健システムの強化	<p>【現状と課題】</p> <p>ギニア政府は、「国家保健開発計画2015-2024」及び「保健システム復興計画」において、エボラ出血熱の感染拡大に際して露呈した脆弱な国家保健システムの強化を重点戦略に掲げている。2020年3月からは新型コロナウイルス感染症流行への対応に迫られ、その他ラッサ熱及びマールブルグ熱等の致死率の高い感染症が突発的に発生していることから、中長期的な視点からの強靱な保健システムの構築が課題となっている。</p>										<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>新型コロナウイルス等の感染症に対応し、その他のギニアで発生し得る感染症への備えを強化するため、検査・研究施設の整備、人材育成等を通じて保健システム強化を支援する。</p>			
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
	保健システム強化プログラム	ポスト・エボラ支援ならびに新型コロナウイルス感染症対策の一環として、脆弱な保健システムの強化に向けた協力を実施する。	国立公衆衛生研究所建設計画	無償	2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	22.27	3		
			経済社会開発計画	無償							3.00	3	医療機材	
			仏語圏アフリカ医療機材管理技術者能力強化(セネガル)	第三国研修										
			保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償								0.12	3	
保健分野の課題別研修			課題別研修他											

開発課題 3-2 (小目標)	【現状と課題】			【開発課題への対応方針】							支援額 (億円)	SDGs	備考
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間								
基礎教育の向上	基礎教育向上プログラム	長期的な人的資本開発のために質の高い初等・中等教育の普及・定着を目指すとともに、職業訓練支援も可能な限り実施する。	アフリカ諸国向け職業訓練(フェーズ5)(セネガル)	第三国研修	2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度			
			教育分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.46	4	
			教育分野の課題別研修	課題別研修他									
その他	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	その他個別案件	アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ(ABEイニシアティブ)「修士課程及びインターンシップ」プログラム	国別研修	2021年度以前	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度				
		SDGsグローバルリーダー	国別研修										
			その他の分野の課題別研修、青年研修	課題別研修他									

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実証」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。
【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」
【SDGsの詳細】https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf